

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームはまなす

作成日 平成23年11月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケアプラン、モニタリングは管理者が主に立案しており、職員一人ひとりが担当利用者のケアプラン作成するに至っていない。	担当職員がケアプランを立案でき、利用者の生活の質の向上、活性化が図れる。	利用者一人ひとりの心身の状態を情報共有しながらしっかりと把握し、家族や本人の希望や思い、意向を把握して、ケアプランに反映していく。	12ヶ月
2	14	グループホーム協会の研修での意見交換の機会はあるが他ホームへの相互訪問する機会はあまりない。	お互いのホームを相互訪問することで、ホームの改善点を見直しながら、サービス内容を改善できケアの質を高められる。	阿久根市のグループホームに、相互訪問の相談を行いスタッフの研修、見学の受け入れ等をしたり、意見交換会を開催し他事業所の取り組みを知る	6ヶ月
3	49	外出支援は随時行っているが、スタッフ主導で外出先が決められ、一人ひとりの希望に添った外出支援とまではしていない。	一人ひとりの行きたい所に出かけられ、気分転換が図れる。	一人ひとりの行き所を把握し、担当スタッフと共に出かけられるように、勤務体制を充実させる。	6ヶ月
4	51	電話は随時自由に掛けたり、取り次いだりしているが、手紙のやりとりまではしていない。	手紙を書くことで季節感を感じながら、家族との絆を深められる。	毎月家族に送っている担当者からのはがきに利用者からのコメントを入れてもらう。	3ヶ月
5	3	事業所の力を生かした地域貢献が行えているとはいいがたい。	中学生や高校生など実習生の受け入れの機会が増え、認知症の人への理解を深められる。	病院職員や、地域の学校から実習生の要請があるときには、速やかに応じ、受け入れていく。	3ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。